

(様式 1-3)

本宮市生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 28 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	9	事業名	本宮市道路交通安全施設設置事業 (和田)	事業番号	F-1-2
交付団体		本宮市	事業実施主体 (直接/間接)	本宮市	
総交付対象事業費		1,122 (千円)	全体事業費	1,122 (千円)	
事業概要					
<p>東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難を余儀なくされている居住制限者の居住の安定を確保するため、福島県本宮市和田字下田地区に 20 戸の災害公営住宅 (戸建) を整備しているところであるが、隣接する市道の高低差のある箇所から車両や歩行者の転落を防止するため、ガードレールを設置する。</p> <p>【整備概要】整備箇所：市道 上百前・重神 1 号線に防護柵としてガードレールを設置 (L=約 73.0m)</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p> <p>『福島県復興計画第 3 次』</p> <p>取組名：生活再建支援プロジェクト【住まいや安全・安心の確保】</p> <p>取組内容：応急仮設住宅の供与はもとより、生活の再建・安定につながる恒久的な住宅への円滑な移行を進めるため、復興公営住宅の早期整備を最優先に取り組んでいく。</p> <p>『浪江町復興計画第 1 次』</p> <p>取組名：仮設住宅・借上住宅など住環境の改善</p> <p>取組内容：仮設、借上住宅で解決できない住環境改善を図る。</p> <p>『本宮市第 1 次総合計画後期基本計画』</p> <p>取組名：原子力災害による避難者の支援</p> <p>取組内容：原子力災害による避難者を支援するため、復興公営住宅の整備を行う。</p>					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>東京電力福島第一原子力発電所の事故によって、居住制限者が本宮市の応急仮設住宅に長期的な避難を余儀なくされている。応急仮設住宅で培われた地域コミュニティの維持を図りながら、居住者の暮らしを再生するため、市内 3 ヶ所に災害公営住宅を整備している。本災害公営住宅整備箇所と隣接する市道の高低差は 5m 程あり、市道から車両及び歩行者が災害公営住宅地内への転落、また転落に伴う居住制限者または災害公営住宅への被害を防止するために、ガードレールを設置し、生活の安全を確保する必要がある。</p> <p>※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。</p>					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					